



JDCフォーラム/特別講演会



国際ドローン展 とは…

ドローン(無人航空機)の産業利用に焦点をあてた国内最大級の BtoB の専門展示会。ドローンは、建設、点検、測量、災害調査など幅広い用途で利用され始めており、それに伴い各方面の企業がドローン導入を検討しています。このような時流を捉えた「ドローン」関連製品・サービスを出展対象とする「ドローン」に特化した日本で数少ない BtoB の専門展示会です。

7月23日(水)の内容

地方自治体における先進事例として、地域課題の解決、新産業基盤の構築、特区によるドローンの導入推進などを紹介します。地方自治体においてドローンに着目し、地域課題解決、産業促進を目指している方にお勧めするセッションです。日本ドローンコンソーシアム表彰では、研究開発分野と産業育成分野の受賞者それぞれに講演して頂き、先端的な技術・事例を聴講できます。

10:40-11:20

群馬県嬬恋村・埼玉県秩父市

ドローン × 地方創生～ 官民連携における課題と可能性



群馬県嬬恋村 副村長(スピードスケート カルガリー五輪 銅メダリスト)
黒岩 彰



埼玉県秩父市 先端技術推進課 課長
笠井 知洋



モデレーター
群馬県嬬恋村 DX 戦略監
日高 雄一郎

内閣府「未来技術社会実装事業」に採択され、地域課題の解決にドローンの利活用を推進する秩父市と嬬恋村。両自治体の取り組みから、民間技術を社会実装につなげるための民間と行政それぞれの役割と課題、今後の可能性を探る。

11:50-12:30

千葉市

国家戦略特区・千葉市における ドローン活用の取組みについて



国家戦略特区推進課長
佐藤 正則

千葉市におけるこれまでの宅配実証、ドローン活用推進事業、ちばドローン実証ワンストップセンター等の取組みをご紹介します(本市と連携して実証実験に取り組んだ炎重工株式会社様及び株式会社 Liberaware 様からの事例紹介も予定)。

13:30-14:10

南相馬市

Robot Hub構想による 当市の経済復興への挑戦



南相馬市長
門馬 和夫

国内で稀にみるドローン(UAV/UGV) 研究開発環境が整備されている南相馬市の特徴を活かし、ドローン分野を起点とした新産業基盤構築による経済復興を目指す取組みとなる『Robot Hub 構想』について紹介します。

14:40-15:20

長崎県

長崎県におけるドローンの 社会実装の取組について



長崎県企画部デジタル戦略課長
直塚 健

長崎県は離島・半島が多く、買い物や移動に関する課題が多くあり、ドローンを活用した地域課題解決に取り組んできました。また、国に対して、ドローン飛行に関する規制・制度改革提案を行い、「新技術実装連携“絆”特区」に指定されました。以上の今回はその取組について紹介します。

15:50-16:30

第4回日本ドローンコンソーシアム表彰 授賞式・特別講演会

研究開発分野

表彰団体：大阪大学大学院

独立・協調制御を組み合わせた ドローン群のフォーメーション分散制御法



大阪大学大学院 基礎工学研究科教授
櫻間 一徳

ドローン群のフォーメーション制御では、ドローンが各々のセンサで観測を行うと、測定結果のズレによってシステムが不安定化する。本講演では、この問題を克服し最も精度良くフォーメーションを実現する、独立・協調制御を組み合わせた新しい分散制御法を紹介する。

産業育成分野

表彰団体：浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム ～ドローン利活用に向けた取組～



浜松市企画調整部 デジタル・スマートシティ推進担当部長
飯尾 武俊

当コンソーシアムでは、地域の移動手段の確立や地域の活性化につながるモビリティサービスの創出を推進しています。2023年に設置した「ドローン利活用推進部会」を中心に、ドローンサービスの社会実装に向けた活動についてお伝えします。

講演は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。



JDC 入会案内
<https://jdc.or.jp/>



メンテナンスレジエンス
<https://mente.jma.or.jp/>



国際ドローン展 JDC フォーラム・講演会
<https://mente.jma.or.jp/seminar/jdc.html>

来場・JDC フォーラムの聴講には事前の登録が必要となります。上記の QR コードから事前登録をお願い致します。

7月24日(木)の内容

JDC は、2025 年 3 月に台湾のドローンの産業界と将来の産業協力を推進していくため、台湾ドローン連盟 (TEDIBOA) と MOU を締結しました。日本のドローン製造では、海外から調達しているものも少なくなく、国際的な連携が必要となっています。日台間の補完関係、具体的な協力方法、そして世界市場で競争力を持つドローンソリューションの共同開発の可能性について、両国から 4 件の事例と総合討論を企画させて頂きました。ドローンのプラットフォームに関わる全ての事業者必見です。

10:40-11:20

無人航空機の最新活用事例とサプライチェーンの重要性 | Latest Applications of Drone and Importance in Supply Chain



Japan side, 株式会社 ACSL 代表取締役 Co-CEO

早川 研介

レジリエントなサプライチェーンの構築：技術協業から産業共創へ～日台ドローン産業の国際協力展望～



Taiwan side, 有量科技 /AMITA・總經理 / General Manager

李誌誠 / Chris Lee

13:30-14:10

1億画素の超高画質カメラ「GFX100S II」搭載ドローンと AI 画像診断サービス「ひびみつけ」の組合せが実現する社会インフラ点検 DX



Japan side, 富士フイルム株式会社

イメージングソリューション事業部 統括マネージャー

上野 隆

ドローンのグローバルトレンドと ITRI の革新的な応用事例



Taiwan side, 工業技術研究院 産業科技国際戦略発展所 /ITRI ISTI

組長 /Division Director

岳俊豪 /Chun-Hao Yueh

11:50-12:30

日本・台湾サプライチェーンの構築と AI ドローンによる新たな空の産業革命



Japan side, 株式会社 Autonomy HD 代表取締役 CEO

野波 健蔵

日台無人機技術と応用の架け橋



Taiwan side, 東建安 /AUTOLAND TECHNOLOGY・總經理 /CEO

郭立霖 /Guo, Li-Lin

11:50-12:30

可搬型 FC 発電機のドローン業界への展開性



Japan side, 株式会社 アイシン E-VC 事業戦略部 主幹

石田 賢司

The Future Trends of Lithium Batteries



Taiwan side, 愛國者緑能科技 /Patriot Green Energy

董事長暨總經理 /Chairman & CEO

呂承璋 /Cheng-Zhang Lu (Peter Lu)

15:50-16:30

総合討論(日本側 4 名、台湾側 4 名)

Japan side



株式会社 ACSL 代表取締役 Co-CEO

早川 研介



株式会社 Autonomy HD 代表取締役 CEO

野波 健蔵



富士フイルム株式会社、イメージングソリューション事業部 統括マネージャー

上野 隆



株式会社 アイシン E-VC 事業戦略部 主幹

石田 賢司

Taiwan side



AMITA General Manager

李誌誠



AUTOLAND CEO

郭立霖



工業技術研究院 産業科技国際戦略発展所 Division Director

岳俊豪



Patriot Green Energy Chairman & CEO

呂承璋

7月25日(金)の内容

ドローンの産業育成に最も関わる国土交通省と経済産業省のそれぞれの取組を紹介して頂きます。また、World Robot Summit (WRS) において、大規模な災害による困難環境下で活躍するロボット・ドローン等の技術開発を促進するために開催されている大会で、なかでも「過酷環境ドローンチャレンジ (HEDC)」の出場者に、大会に向けたドローンの紹介や戦略を可能な範囲で話して頂きます。海外の先進的な技術開発状況も紹介頂ける可能性があり、必見です。

10:40-11:20

次世代航空モビリティを巡る動向



国土交通省航空局安全部

無人航空機安全課長

江口 真

昨年 11 月に空の産業革命に向けたロードマップ 2024 が策定され、ドローンのさらなる社会実装の拡大が期待されている。ついては、物流をはじめ多様な分野におけるドローンの社会実装の促進に向けた取組などを紹介する。また、空飛ぶクルマについては、大阪・関西万博におけるデモフライトや、今後の社会実装に向けた取組などを紹介する。

11:50-12:30

空の産業革命に向けた政府の取り組み



経済産業省 製造産業局

航空機武器産業課 次世代空

モビリティ政策室 室長補佐

別木 替

経済産業省では、点検、物流、災害など多岐に渡る分野で活用が進むドローンについて、更なる利活用促進などに向け、検討を進めています。本講演ではドローンの利活用推進における取組の現状と課題、今後の取組の方向性について紹介します。

13:30-14:10

【過酷環境ドローンチャレンジ HEDC】

(参加チームからのチャレンジ勝利への戦略プレゼン、海外はオンライン、国内は対面)

F-REI ロボット分野長・HEDC 競技委員長 野波健蔵

「過酷環境ドローンチャレンジ HEDC の概要と下記の 3 チーム概要紹介」

1. チーム名：Minamisoma Robotics Industry Council MARS ZERO (日本)

代表者名：Masata Kaneta, Minamisoma Robotics Industry Council

2. チーム名：NewSpace Research & Technologies (インド)

代表者名：Ashwin Shastri, NewSpace Research & Technologies

3. チーム名：Team Aichi (日本)

代表者名：Hiroe Hashiguchi, 大同大学

14:40-15:20

【HEDC】

(参加チームからのチャレンジ勝利への戦略プレゼン、海外はオンライン、国内は対面)

F-REI ロボット分野長・HEDC 競技委員長 野波健蔵

「過酷環境ドローンチャレンジ HEDC の概要と下記の 3 チーム概要紹介」

4. チーム名：NUS_1 (シンガポール)

代表者名：Sutthiphong Srirarom, シンガポール国立大学

5. チーム名：ITCA (日本)

代表者名：Satoshi Suzuki, 千葉大学

6. チーム名：ITRI A-Team (台湾)

代表者名：Wen-Yang Peng, 台湾工業技術研究院、Industrial Technology Research Institute

15:50-16:30

【HEDC】

(参加チームからのチャレンジ勝利への戦略プレゼン、海外はオンライン、国内は対面)

F-REI ロボット分野長・HEDC 競技委員長 野波健蔵

「過酷環境ドローンチャレンジ HEDC の概要と下記の 3 チーム概要紹介」

7. チーム名：CIDFAE (エクアドル (南米))

代表者名：Linker Criollo Calderon, Centro de Investigacion y Desarrollo FAE

8. チーム名：Team ArduPilot JAPAN (日本)

代表者名：Hiroshi Kitaoka, Droneability, INC.

9. チーム名：HYTech UAS (台湾)

代表者名：Chou Yu-Tuan, Hsuan Yuan Technology Co. Ltd.

HEDCとは？

「HEDC は、大規模災害を想定した、被災状況の調査や被災者に対する救援物資の供給などを課題とした「過酷環境ドローンチャレンジ」の大会です。3 つのミッションが設定されます。



飛行ロボットを用いた救援車両のルート探索



要救助者の特定と救援物資の把握と搬送



遠隔地建屋内の被災者状況把握